

市政の 暴走

市議会開会日（2月18日）、指定ごみ袋強制を表明—市長

市民無視、議会軽視の極み

「表明すべきではない」 党市議団、市長へ直接進言

2月8日に開催された市議会全員協議会で配布された資料に、市議会開会日の冒頭の市長一般報告で、指定ごみ袋の導入（当初のスケジュール通り10月への指定袋販売、来年4月への本格導入）を表明する事がわかりました。

党市議団は9日、議会前恒例となっている会派と市長・副市長との懇談会で「市内4カ所の説明会を受けてもなお、議会冒頭に表明できるという認識なのか？表明するべきではない」と指摘。「自治基本条例、市民投票条例などを策定し、「市民自治始めます」とノボリも策定し、市民とともに築いてきた経緯を踏まえても、問題がある」と進言し、抗議の意を表しました。

市長は、「説明会で出された

意見はすべて協議した。表明する事に問題はない」と強弁。説明会では数多く出された異論や反対の意見を無視する方向です。

しかも今議会では、通例の一般質問や各常任委員会以外に予算審査特別委員会が開催されます。感染症対策と同時に、指定袋の導入是非も大きな争点として議論が交わされることが予測されます。議会冒頭、各議員や各会派との意見や政策を一言も交わさず、本格導入を市長が表明するとすれば、議会制民主主義の否定にとどまらず、市長部局と市議会の『二元代表制』を前提とした自治基本条例にも反する行為であり、市政の私物化・権力の暴走と言わなければなりません。

抗議の電話、FAX、メールを

「コロナ禍のもと、活動（営業）自粛やマスク着用など命と健康を守るために、この1年、市民は協力してきました。ごみ収集やクリーンセンターのスタッフも、感染急拡大への対応に追われています。市民の疑問も残されたまま、指定ごみ袋『強制』が、流山市にとって緊急課題ではありません。一緒に抗議の声を上げてくだ

市役所秘書課 電話 04(7150)9006

FAX 04(7150)0111

MAIL: hishokouhou@city.nagareyama.chiba.jp

